



多文化共生及び外国人共生の 取組と農業支援について

柴田 信議員



質問 多文化共生タウンミーティングの実施内容、成果について伺います。

あると考えています。

質問 中国昆山市との交流事業について伺います。

答 外国人住民と多文化共生のキーパーソンとなる市民が、直接意見交換をする機会が得られたこと、多文化交流を通し、同じ住民として交流の場を提供できたことは、本事業の成果で

答 本市と中国昆山市は、平成16年の友好都市締結から今日まで、相互の公式訪問団及び市民訪問団の派遣や受入れ、国際交流員の受入れ、また芸術やスポーツ交流などを実施してきました。

今回、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響による本市の困難な状況を知った昆山市から、感染症予防対策として、マスク1万枚と防護服千枚の寄付の申し出があり、別途購入したマスク10万枚と同じ時期にいただくことができました。

質問 外国籍児童に対する日本語教育の実態について伺います。

答 日本語で日常生活のコミュニケーションを図る力、読んだり書いたりする

力、そして、各教科の学習に対応できる力を段階的に育てています。

このような個別支援を行うことにより、中学3年での進路選択の幅が広がり、上級学校への進学を果たす生徒が増えてきている等の成果を挙げています。

質問 ICT等の新しい技術による農業支援の状況について伺います。

答 ICT（情報通信技術）機器を活用することにより、農作業が効率化・省

力化されるスマート農業は、全国的にも注目を集めており、国や研究機関が無人トラクターや自動田植機の実証実験やスマートフォンを活用した遠隔管理の研究を進めています。本市においても、JA邑楽館林と協力して実証実験に取り組んでいます。



災害対応と 子宮頸がん予防ワクチンについて

平井 玲子 議員



災害対応について

質問 新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた場合の避難所の受け入れ可能人数について伺います。

答 避難空間の密集を防止し、ソーシャルディスタ

ンスを仮に2mとった場合、収容人数は4分の1に低下、合計収容人数は1万3千人

となります。

要望 公的避難所を利用する予定の人数、垂直避難できる方、自宅で避難者を受け入れることが可能な方などの情報を地域で把握して

いただけるよう市としての支援をお願いします。それぞれの地域、行政区の中で安全を確保できる新たな避



難体制を築けるよう本市の避難所自体も大きく転換する契機ととらえてまいりたいと思います。

質問 藤岡市は、災害時の情報を群馬テレビのデータ放送を通じ発信する取組を始めました。災害情報発信

の充実の観点から、このような取組も有効だと思いますが、見解を伺います。

答 事例を研究していきたいと考えています。

子宮頸がん予防ワクチン

質問 対象者への周知方法について伺います。

答 本市では、接種対象者を中学1年生から高校1年生までの女子生徒としていますが、案内通知は、初年度のみの中1年生に対し、4月にハガキを発送しています。

要望 定期接種対象の最終年度である高校1年生の女子に対して再度、定期接種の対象者であることや、年度内に3回の接種を終えるには1回目の接種を今年の9月30日までにを行う必要があると伝えるとともに、接種をするかどうかについて検討・判断ができるようリーフレットの個別送付、接種を希望する場合は、接種の方法等をリーフレットと併せてお知らせするよう要望とします。